

謎解きハイキング

正丸駅～げんきプラザまでのハイキングコースを、クイズを解きながら楽しく歩きましょう。いろいろな発見がありますよ。



ねらいとして考えられるもの

- ・自然に親しみ、自然に対する興味、関心を高める。
- ・課題解決のための思考力、判断力の育成を図る。
- ・健康や体力増進をはかる。
- ・仲間意識の向上を図る。

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
	4年生以上	通年	5～100人	2時間半	地図、問題、解答用紙コピー代：10円/枚

団体が準備するもの

地図、食料、非常食、水筒、医薬品、雨具、懐中電灯、電池、軍手、時計、帽子
(地図、問題、解答用紙*)
*:ホームページよりダウンロードできます。

げんきプラザで貸し出せるもの

トランシーバー
(地図、問題、解答用紙 コピー代：10円/枚)

実施要領

コース案内

正丸駅～名栗げんきプラザの入所コース。

正丸駅からしばらく車道を歩き、「馬頭様」の分岐から大蔵山コースへ入る。コース上では、様々な巨岩を見ることが出来る。謎解きハイキング用の地図に示されている10のポイントごとに、自然や地域文化、地理等に関する課題が出題されている。ポイントは、道の分岐点、大きな目印のある所、道標のある所などに設置してある。

- * グループごとに協力し合って課題を解くアクティビティーだが、個人で行うこともできる。
- * 退所時に実施することもできる。

導入

- ① コース説明
- ② 謎解きハイキングの説明
- ③ 持ち物、服装の確認
- ④ 安全上の注意事項・留意事項の説明
 - ・ 歩き方（落石、転落に注意する）
 - ・ 危険な動植物（ヘビ、ハチ、とげのある植物等）
 - ・ 自然にやさしい活動（ローインパクト）になるように、フィールドマナーに気をつける。
 - ・ 動植物の採取や損傷はしない。
 - ・ ゴミは持ち帰る。
- ⑤ トイレを済ます。
- ⑥ 人員確認、健康観察

準備

- ① 分岐点等に指導者を配置

展開

- ① 1～2分程度の時間差を設けて出発しても良い。
- ② コースに沿って、10箇所の課題をグループで協力しながら解いていく。

- ③ 課題のある 10 箇所のポイントは地図上から読み取る。
- ④ 引率者は、参加者の様子を把握し、参加者の実態に合わせたペースで歩く。
- ⑤ 必要に応じて、コース上の動植物等を案内したり、自然観察を行なっても良い。

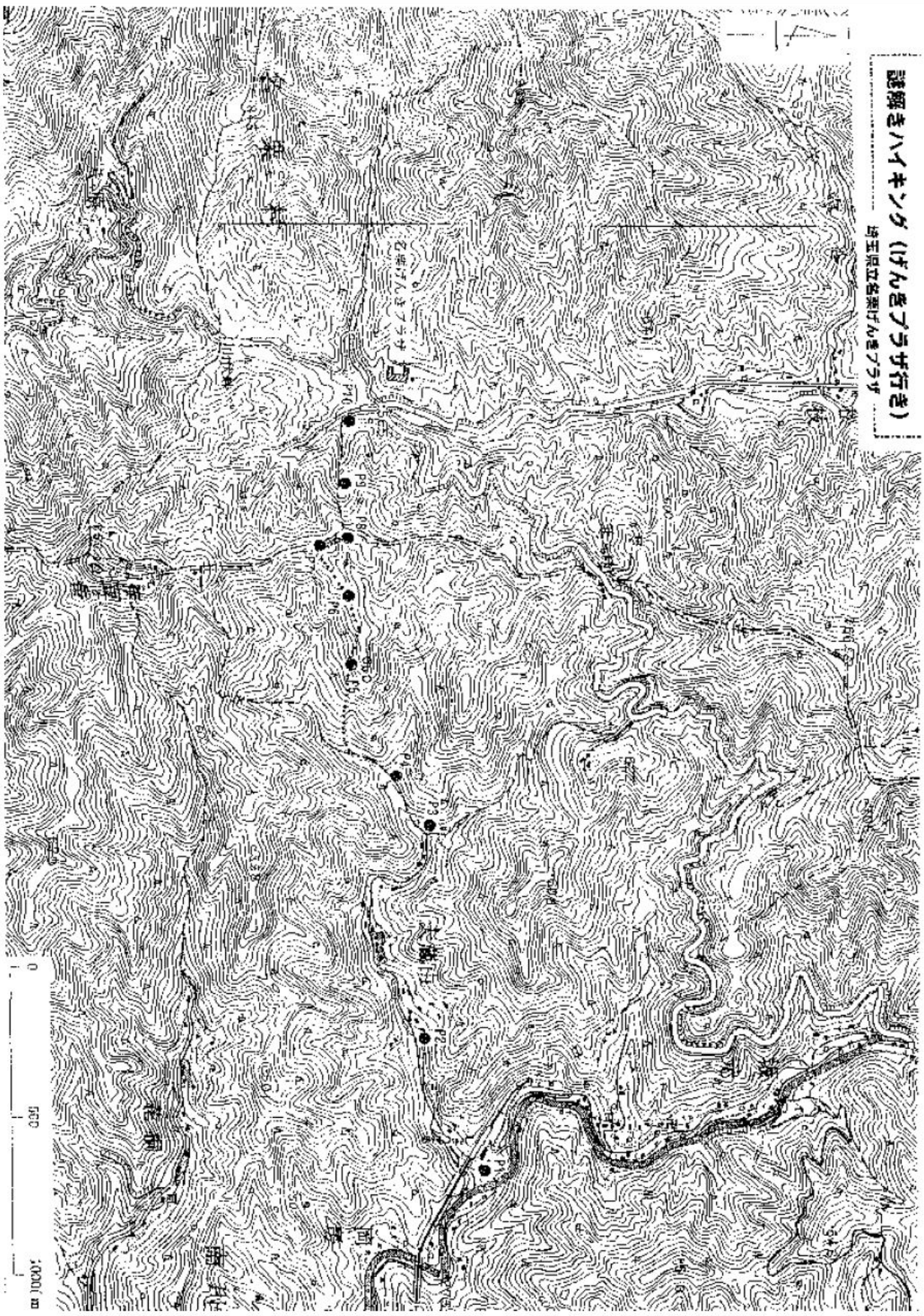
まとめ

- ① 人員確認、健康観察。
- ② 到着後、正解発表や採点集計をする。
- ③ ふりかえり
活動のまとめ、感想発表など

留意点

- ① 下見を必ず実施しましょう。
ルート、危険箇所、危険な動植物、気温、休憩・食事・観察ポイント、所要時間、疲労度などを確認しましょう。
- ② 分岐点（馬頭様、実谷のふたまた、長岩峠など）には、指導者を配置しましょう。
- ③ 自然にやさしい活動（ローインパクト）になるように、フィールドマナーに気をつけましょう。
 - ・ 動植物の採取や損傷はしない。
 - ・ ゴミは持ち帰る。
- ④ 緊急時等の対応を考えましょう。
 - ・ 引率者の役割の確認
 - ・ 緊急時の連絡方法（無線機、トランシーバー貸出し可）
 - ・ 救急薬品等の準備
- ⑤ 登山道にはトイレがありません。
- ⑥ 荒天時の判断は、参加者の実態等考慮し、団体で決定してください。
- ⑦ 時間を競うゲームではありません。グループで協力しながら安全にハイキングをしましょう。
水温を予想する課題があります。水温計をご用意下さい。

謎解きハイキング (げんきトラサ行き)
埼玉県立各県げんきトラサ



謎解きハイキング解答（大蔵山コース：名栗げんきプラザ行き）

【P1】ここは、正丸駅です。この正丸駅から見て、皆さんの住んでいるところはどの方向になるでしょうか？（ ）

いよいよ名栗げんきプラザに向かって出発です。階段を下りて、線路の下をくぐり大蔵山という地名の道を登っていきます。舗装された道は、【P3】の馬頭様まで続きます。車に気をつけてください。

【P2】ここは、安藤地蔵尊です。この地蔵尊では毎年決まった日にお祭りを行います。その日は何月何日でしょう。（ 月 日 ）

【P3】ここは、馬頭様です。このあたりから伊豆ヶ岳は、県立の自然公園になっています。この公園の名前を教えてください。近くの看板がヒントです。（ ）

答えが終わりましたら、舗装された道から分かれ、左のハイキング道を伊豆ヶ岳（名栗げんきプラザ）方面に進みます。

【P4】ここは、長岩橋です。まわりはスギの植林です。このあたりのスギやヒノキは、昔から「西川材」と呼ばれ有名です。これは、「ある都市」から見て、西の方角から川を使って運ばれたことから名付けられたと言われています。「ある都市」とはどこでしょう？（ ）

沢にそってハイキング道を登ります。「実谷のふたまた」で、右に曲がり、名栗げんきプラザに向かいます。「カメ岩」までは、しばらくスギの植林の中を歩きます。

【P5】ここは、カメ岩です。この場所と伊豆ヶ岳山頂の標高は、およそどのくらいちがいますか？（ m ）

カメ岩は、名栗げんきプラザの職員が名付けました。チャートと呼ばれるかたい岩石からできています。危険ですので、カメ岩には近づかないでください。このあたりから、尾根道にかけては、明るく林となっています。落葉広葉樹が多いからです。

【P6】ここは、尾根道にある木の階段の途中です。登りながら道から右側2～3m離れたところに白い木があります。この木の名前を教えてください。（シラカンパ（シラカバ））

【P7】ここは、大蔵山です。道しるべの周辺（約20m以内）には、アカマツという木があります。この木は全部で何本ありますか。（ 本 ）

【P8】ここは、長岩峠です。名栗げんきプラザまで、あと1.0kmの道のりです。歩いてあと何分くらいかかるでしょうか。予想を立ててください。到着したら、実際にかかった時間との差を出してください。
予想（ ）分・実際（ ）分・差（ ）分

【P9】ここは、ツガの木台です。南側にある植林されたヒノキの林は、北側の林に比べ下草は少なくなっています。これはなぜですか。
（光が少ないから、下草狩りをするから、土が酸性であるから、など）

このツガの木台付近には、モミの木もあります。どららの木も大きな木で、常緑針葉樹の仲間です。モミの葉の先がとがっていて触れると痛い感じですが、ツガの葉には、痛みはありません。葉だけでなく、木の肌などもよく観察してください。

【P10】ここには、沢があります。流れている水に手を入れてみましょう。水の温度はどのくらいあるでしょうか。（ °C ）

げんきプラザは、すぐそこです。舗装された道では車に気をつけてください。

